

指導と評価の年間指導計画 論理国語

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
論理国語	2年次	2	精選論理国語 (東京書籍)	

科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。また、発表する場面では、共に学習するメンバーに理解できるように表現を工夫しましょう。【知の基盤となる力】【自律の精神】【読解力】【表現力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・授業・予習ノート ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・授業・予習ノート ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業状況の観察 ・課題等への取り組み ・授業・予習ノート ・小テスト

論理国語 「内容のまとめり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

A 書くこと		
学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
芸術論 言語論 科学論 人間論 情報論 社会論 環境論 近代論 記号論 時間論 文化論 身体論 歴史論 哲学論 共同体論 倫理論	<p>知・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。</p> <p>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。</p> <p>思・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。</p> <p>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができる。</p> <p>・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</p> <p>主言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。</p>	<p>・特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。</p> <p>・設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。</p> <p>・社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。</p> <p>・設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。</p>
B 読むこと		
芸術論 言語論 科学論 人間論 情報論 社会論 環境論 近代論 記号論 時間論 文化論 身体論 歴史論 哲学論 共同体論 倫理論	<p>知・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。</p> <p>思・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。</p> <p>・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができる。</p> <p>・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>主言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。</p>	<p>・論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。</p> <p>・社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論証したり討論したりする活動。</p> <p>・学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。</p> <p>・同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。</p>

指導と評価の年間指導計画 文学国語α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
文学国語 α	2年次	2	文学国語 (東京書籍)	

科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。また、発表する場面では、共に学習するメンバーに理解できるように表現を工夫しましょう。【知の基盤となる力】【自律の精神】【読解力】【表現力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力	探究する力	未来へ向かう力
	社会で生きる知識・技能、読解力	批判的・論理的思考力、創造力、表現力	自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・授業・予習ノート ・小テスト ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 ・授業・予習ノート ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業状況の観察 ・課題等への取り組み ・授業・予習ノート ・小テスト

文学国語α 「内容のまとめり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

A 書くこと		
学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
随筆 小説 評論 詩歌 戯曲	<p>知・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</p> <p>・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。</p> <p>思・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができる。</p> <p>・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫することができる。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。</p> <p>主・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>・自由に発想したり評論を参考にしたりして、小説や詩歌などを創作し、批評し合う活動。</p> <p>・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりする活動。</p> <p>・古典を題材として小説を書くなど、翻案作品を創作する活動。</p> <p>・グループで同じ題材を書き継いで一つの作品をつくるなど、共同で作品制作に取り組む活動。</p>
B 読むこと		
随筆 小説 評論 詩歌 戯曲	<p>知・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。</p> <p>・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。</p> <p>思・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。</p> <p>・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。</p> <p>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。</p> <p>・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。</p> <p>・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。</p> <p>主・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>・作品の内容や形式について、書評を書いたり、自分の解釈や見解を基に議論したりする活動。</p> <p>・作品の内容や形式に対する評価について、評論や解説を参考にしながら、論述したり討論したりする活動。</p> <p>・小説を、脚本や絵本などの他の形式の作品に書き換える活動。</p> <p>・演劇や映画の作品と基になった作品とを比較して、批評文や紹介文などをまとめる活動。</p> <p>・テーマを立てて詩文を集め、アンソロジーを作成して発表し合い、互いに批評する活動。</p> <p>・作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり短い論文などにまとめたりする活動。</p>

指導と評価の年間指導計画 古典探究

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
古典探究	2年次	2	精選 古典探究 (東京書籍)	

科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。また、発表する場面では、共に学習するメンバーに理解できるように表現を工夫しましょう。【知の基盤となる力】【自律の精神】【読解力】【表現力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。
主な評価方法	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・小テスト・定期考査	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題等への取り組み ・授業・予習ノート・小テスト

古典探究 「内容のまとめり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

A 読むこと		
学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
古文分野 説話 歌物語 随筆 軍記物語 日記 作り物語 歴史物語 詩歌 近世小説 評論 俳諧 上代の文学 古典の注釈 漢文分野 小話 詩 史記 思想 小説 文	<p>知・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。</p> <p>・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。</p> <p>・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。</p> <p>・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めることができる。</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めることができる。</p> <p>・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。</p> <p>思・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。</p> <p>・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。</p> <p>・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。</p> <p>・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。</p> <p>・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。</p> <p>・古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>主・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。</p>	<p>・古典の作品や文章を読み、その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、調べて発表したり議論したりする活動。</p> <p>・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりする活動。</p> <p>・古典を読み、その語彙や表現の技法などを参考にして、和歌や俳諧、漢詩を創作したり、体験したことや感じたことを文語で書いたりする活動。</p> <p>・古典の作品について、その内容の解釈を踏まえて朗読する活動。</p> <p>・古典の作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりする活動。</p> <p>・古典の言葉を現代の言葉と比較し、その変遷について社会的背景と関連付けながら古典などを読み、分かったことや考えたことを短い論文などにまとめる活動。</p> <p>・往来物や漢文の名句・名言などを読み、社会生活に役立つ知識の文例を集め、それらの現代における意義や価値などについて随筆などにまとめる活動。</p>

指導と評価の年間指導計画 地理探究β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
地理探究β	2年	2	高等学校 新詳地理探究 (帝国書院)	新詳高等地図(帝国書院) 新編 地理資料 2024(とうほう) データブックオブザワールド 2024(ニ宮書店)

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
社会的事象の地理的な見方・考え方	社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、講義内容を自分なりの解釈を踏まえてノートやプリントに、自分なりに整理し、まとめる。【読解力】・【自律の精神】 2 授業の中で思考・考察が求められた場合には、結論に至る根拠に基づく過程を重視し、答えをすぐに求めない。【批判的・論理的思考力】・【表現力】・【進取の精神】 3 地図への書き込みなどの作業的な取り組みについて、単純作業に陥らないよう、地図・図表などから読み取りを強く意識して取り組む。【批判的・論理的思考力】・【友愛の精神】 4 日頃の生活と授業で得た知識を関連づけ、より実社会を強く感じ、自らの実生活や体験を意識して意欲を高める。【社会で生きる知識・技能】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 地理に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解できている。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解することができている。	思考・判断・表現 地理に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができている。	主体的に学習に取り組む態度 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察や深い理解を通して、意欲的に追究、解決しようとする態度で取り組むことができている。
	主な評価方法 ・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	主な評価方法 ・課題への取り組み ・話し合いなどの活動 ・定期考査	主な評価方法 ・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題等への取り組み

地理探究Ⅱ 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学期	第1部 現代世界の系統 地理的考察 第1章 自然環境	<p>知地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性、現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解できている。</p> <p>思地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、それらの事象の空間的な規則性、傾向性、課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>主自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究できる。</p>	<p>单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地形と地形図の利用 ・大気の大循環 ・ケッペンの気候区分 ・雨温図、ハイサーグラフの読み取り
2 学期	第2章 資源と産業 第3章 交通・通信と観光、貿易	<p>知資源・エネルギーや農業、工業、交通、通信などに関わる諸事象をもとに、空間的な規則性、傾向性、問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解できている。</p> <p>思資源・エネルギーや農業、工業、交通、通信などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、空間的な規則性、傾向性、課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>主資源、産業、交通、通信などについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究できる。</p>	<p>单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・第1次産業の特徴 ・第2次産業の特徴 ・第3次産業人口の特徴
3 学期	第4章 人口、村落・都市	<p>知人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解できている。</p> <p>思人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、空間的な規則性、傾向性や、関連する課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>主人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口問題 ・都市問題 <p>全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。</p>
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 日本史探究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
日本史探究α	2年	3	詳説 日本史 (山川出版社)	自作 授業プリント

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う		
社会的事象の 歴史的な 見方・考え方	社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして考える。		
主な 学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連づけて多面的多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
主な 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問に対する回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み ・話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業状況の観察 ・授業プリント ・課題への取り組み

日本史探究α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学期	I 原始・古代 ・日本文化の黎明 ・古代国家の形成と東アジア ・古代国家の推移と社会の変化	知 原始社会の人々の生活の変化、大和朝廷による統一、律令に基づく古代国家の成立と推移及び文化の形成について、東アジア世界の動きとも関連付けて理解する。 思 日本で形成される文化・政治がどのような背景があるのかを考察する。 主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。	・提示された知識を取得するとともに、「なぜそのようなものか」という事象の背景を考えながら学習をすすめる。 ・資料をよみ資料にふれる学習。 ・諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付ける学習。
2 学期	II 中世 ・武家政権の成立 ・武家政権の展開社会の変化	知 武家政権の成立から戦国大名の時代に至る武家社会の進展と文化の展開について、東アジア世界の動向と関連付けて理解する。 思 国内で展開される政治制度がなぜ出現するのかを考察する。 主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。	・「社会情勢」、「政治方針」、「文化」の項目を単独的に学習するのではなく、関連づけながら学習をすすめる。 ・歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現する学習。
3 学期	III 近世 ・織豊政権と幕藩体制の形成 ・産業経済の発展都市や村落の文化	知 織豊政権及び幕藩体制の特色と推移、社会・文化の動向について、国際関係の変化とその社会や文化への影響にも触れながら理解する。 思 日本が外国へどのような影響を与えたのか、また、外国の日本への接近はどのような理由なのかを考察する。 主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。	・1学期、2学期で養った力をふまえ、歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに追究し考察した過程や結果を適切に表現することを自身の力で主体的に実践する活動。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 世界史探究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
世界史探究α	2年	3	詳説 世界史 〈世界史探究〉 (山川出版社)	ニューステージ世界史詳覧(浜島書店) 自作 授業プリント

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
社会的事象の 歴史的な 見方・考え方	社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして考える。		
主な 学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】【自律の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	世界の歴史の展開についての基本的な事柄を、世界の他地域や日本の歴史と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている	世界の歴史の展開から課題を見だし、日本の歴史と関連づけて多面的多角的に考察し、世界の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している	世界の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする
主な 評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答 ・授業ノート(プリント)	・課題への取り組み ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート(プリント)プリント ・課題への取り組み

世界史探究α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・先史の世界 ・オリエントと地中海世界 ・アジア・アメリカの古代文明 	<p>知 歴史時代に到達するまでの人類の歩みに関する基本的知識を身に着けている。</p> <p>知 オリエントと東地中海・南アジア・東南アジア・東アジアの古代文明の展開に関する基礎知識を身につけている。</p> <p>思 各地域の独自性と共通点に着目し、風土と文明や宗教などの関連について判断し、適切に表現している。</p> <p>主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された知識を取得するとともに、「なぜそのようになるのか」という事象の背景を考えながら学習をすすめる。 ・資料をよみ資料にふれる学習。 ・諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的な事象を追及する方法を身に付ける学習。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジア世界・東アジア世界の形成 ・イスラーム世界の形成と発展 	<p>知 遊牧民族の活動と商業の発展による東アジア世界の変容と、イスラーム世界の拡大について理解している。</p> <p>思 イスラーム教の特徴、イスラームの社会や文化に関する資料を活用し、考察した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会情勢」、「政治方針」、「文化」の項目を単独的に学習するのではなく、関連づけながら学習をすすめる。 ・歴史的な事象を追及し考察した過程や結果を適切に表現する学習。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・アジア諸地域の発展 	<p>知 キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界が発展していく過程について理解している。西ヨーロッパ封建社会の特質、形成・解体の背景とその影響について、基礎知識を身につけている。</p> <p>思 アジアの各地域が広域的な国家によって統合されていく過程について資料をもとに考察している。</p> <p>主 語句の理解にとどまることなく、歴史のストーリーの理解に努め、表現する活動に意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期、2学期で養った力をふまえ、歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的な事象を追及する方法を身に付けるとともに追及し考察した過程や結果を適切に表現することを自身の力で主体的に実践する活動。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 歴史総合研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
歴史総合研究 α	2年	2	高等学校 歴史総合 (山川出版社)	新詳 歴史総合(浜島書店) 自作 授業プリント 歴史地図・資料プリント

科目の目標	社会的諸事象の、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを次の通り目指す。		
社会的事象の 歴史的な 見方・考え方	社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして考える。		
主な 学習活動	1 講義型の授業では、講義内容を自分なりの解釈を踏まえてノートやプリントに、自分なりに整理し、まとめる。【読解力】・【自律の精神】 2 授業の中で思考・考察が求められた場合には、結論に至る根拠に基づく過程を重視し、答えをすぐに求めない。【批判的・論理的思考力】・【表現力】・【進取の精神】 3 プリントへの書き込みなどの作業的な取り組みについて、単純作業に陥らないよう、資料・地図などから読み取りを強く意識して取り組む。【批判的・論理的思考力】・【友愛の精神】 4 日頃の生活と授業で得た知識を関連づけ、より実社会を強く感じ、自らの実生活や体験を意識して意欲を高める。【社会で生きる知識・技能】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	私達の生活や身近に見られる諸事象をもとに、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史につながっていることを理解している。教科書や資料などを用いて、日本や世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身に付けている。	日本や世界の歴史に関わる諸事象の意味や意義、周辺地域との関連などを多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題の解決に向けて構想する力や、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論する力を身に付けている。	歴史総合を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について主体的に理解を深めようとしている。日本や世界の歴史に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深めている。
主な 評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	・課題への取り組み(内容面) ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題への取り組み

歴史総合研究α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・諸地域世界の形成, 歴史の扉, 1 近代化と私たち ・近代化への問い ・結びつく世界 ・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・明治維新と日本の立憲体制 	<p>知 諸地域世界の形成を学び, 日本と世界の歴史を理解し, 身近な砂糖などを題材に日本と世界のつながりを理解している。</p> <p>思 諸地域世界の形成を学び, 日本と世界の歴史を考え, 身近な砂糖などを題材に日本の歴史や日本と世界のつながりを読み取り, その内容を多面的・多角的に考察している。</p> <p>主 諸地域世界の形成を学び, 日本と世界の歴史を主体的に追究し, 身近な砂糖などを題材に日本の歴史や日本と世界のつながりについて自分なりの考えを身につけて, その構造や歴史的意義を見いだそうとしている。</p>	<p>単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)と1年次の学習を踏まえて地図・史料・グラフ・データの読み取り, 歴史的思考力を培うことに重点を置く。</p> <p>演習・討論を中心にアウトプットを中心とする。</p>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の展開とアジア 2 国際秩序の変化や大衆化と私達 ・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦 ・戦後国際秩序と日本の改革 	<p>知 第1次・第2次の産業革命の概要と日本への影響, 帝国主義の展開と植民地の形成, 2度の世界大戦の概要と日本や世界への影響を理解している。</p> <p>思 第1次・第2次の産業革命の意義と日本への影響, 帝国主義の展開と植民地の形成, 2度の世界大戦の概要と日本や世界への影響について, その内容を多面的・多角的に考察している。</p> <p>主 第1次・第2次の産業革命の意義と日本への影響, 帝国主義の展開と植民地の形成, 2度の世界大戦の概要と日本や世界への影響について, その構造や歴史的意義を見いだそうとしている。</p>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を1年次の学習を踏まえて地図・史料・グラフ・データの読み取り, 歴史的思考力を培うことに重点を置く。</p> <p>・日本や世界の各時代と現在とのつながりを考察し, 生徒同士発表する。</p>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 3 グローバル化と私達 ・冷戦と世界経済 ・グローバル化する世界と課題 ・現代的な諸課題の形成と展望 	<p>知 第2次世界大戦後の日本と世界について理解し, 歴史的つながりや世界各地との関連を理解している。</p> <p>思 第2次世界大戦後の日本と世界について, その内容や影響について多面的・多角的に考察している。</p> <p>主 第2次世界大戦後の日本と世界について, 興味関心を持つとともに, 自分なりの考えを身につけてその構造や歴史的意義を見いだそうとしている。</p>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を1年次の学習を踏まえて地図・史料・グラフ・データの読み取り, 歴史的思考力を培うことに重点を置く。</p> <p>・大戦後の現代世界について今日的諸課題を中心に考察, 発表する</p>
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 公共

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
公共	2年	2	詳述 公共 (実教出版)	フォーラム 公共(とうほう)

科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
社会的事象の 公共的な 見方・考え方	社会的事象等を、倫理、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築や人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けて考える。		
主な 学習活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現し、他者の意見を取捨選択して生かしていきましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう【読解力】【進取の精神】【自律の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な社会問題など)を関連づけ、歴史を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】 		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神、グローバルな視点、キャリア設計力
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を持ち、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を身に付けている。 国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を身に付けている。
主な 評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	・課題への取り組み ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題等への取り組み

公共 年間指導計画

[知]:知識・技能 [思]:思考・判断・表現 [主]:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学期	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 社会とは何か 第4章 民主国家における基本原理	<p>[知]・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出しているとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともにによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。</p> <p>[思]他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>[主]よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</p>	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。 ・教科書の脚注のTRY!を利用し、話し合う。 ・教科書の Trial を使用して、倫理的な課題を思考し、話し合う。
2 学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 第3章 現代の経済社会	<p>[知]憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</p> <p>[思]合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>[主]多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	・教科書の脚注のTRY!を利用し、話し合う。 ・教科書のActiveを使用して、社会問題を思考し、話し合う。
3 学期	第4章 経済活動のあり方と国民福祉 第5章 国際政治の動向と課題 第6章 国際経済の動向と課題 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<p>[知]公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>[思]合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>[主]よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	・教科書の脚注のTRY!を利用し、話し合う。 ・教科書のActiveを使用して、社会問題を思考し、話し合う。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学Ⅱα

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学Ⅱα	2年	3	新編数学Ⅱ (数研出版)	チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B+C(数研出版)

科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数および微分法と積分法の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

数学Ⅱ α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	第3章 図形と方程式 第4章 三角関数	<p>知 図形と方程式や三角関数についての基本的な概念を理解しているとともに、数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思 座標平面上の図形について、方程式で表現し、図形の位置関係を考察できる。三角関数の性質を考察し、式とグラフの関係についても多面的に考察できる。</p> <p>主 数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。</p>
2 学 期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	<p>知 指数関数、対数関数や微分法についての基本的な概念を理解しているとともに、数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思 指数関数や対数関数の性質を考察し、式とグラフの関係についても多面的に考察できる。関数とその導関数について考察することができる。</p> <p>主 数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	<p>全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。</p>
3 学 期	第6章 微分法と積分法	<p>知 微分法や積分法についての基本的な概念を理解しているとともに、数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思 関数とその導関数との関係や微分や積分の関係に着目し、関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法を考察できる。</p> <p>主 数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学Ⅱβ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学Ⅱβ	2年	2	新編数学Ⅱ (数研出版)	チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B+C(数研出版)

科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数および微分法と積分法の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

数学Ⅱβ 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	第3章 図形と方程式 第4章 三角関数	<p>知 図形と方程式, 三角関数についての基本的な概念を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思 座標平面上の図形について, 方程式で表現し, 図形の位置関係を考察できる。三角関数の性質を考察し, 式とグラフの関係についても多面的に考察できる。</p> <p>主 数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
2 学 期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	<p>知 指数関数や対数関数, 微分や積分についての基本的な概念を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思 指数関数や対数関数の性質を考察し, 式とグラフの関係についても多面的に考察できる。関数とその導関数との関係や微分や積分の関係に着目し, 関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法を考察できる。</p> <p>主 数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	全体を通して, それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
3 学 期			
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学Ⅲβ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学Ⅲβ	2年	2	新編数学Ⅲ (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学Ⅲ+C(数研出版)

科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 極限、微分法および積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

数学Ⅲβ 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期			
2 学 期	第1章 関数 第2章 極限 第3章 微分法	<p>知いろいろな関数, 極限や関数の微分についての基本的な概念を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思いろいろな関数のグラフの特徴について, 既習のグラフと関連づけて多面的に考察できる。関数の連続性や微分可能性, その導関数との関係について考察ができる。</p> <p>主数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
3 学 期	第4章 微分法の応用	<p>知接線の方程式や, 増減, 極大・極小, グラフの凹凸についての基本的な概念を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思関数の式を多面的にみて, 適切に変形して, 関数の積分を求める方法について考察できる。また, 事象を数学的に捉え, 他の事象との関係を考察することができる。</p> <p>主数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	全体を通して, それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 B α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 B α	2年	2	新編数学 B (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学 II+B+C(数研出版)

科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え, 論理的, 統合的・発展的, 体系的に考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では, 思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 家庭学習では, 学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ, 事象を数理的にとらえることで, 数学を身近に感じ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身につけている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など, 授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

数学 B α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 ～ 2 学 期	第1章 数列	<p>知数列や漸化式, 数学的帰納法の基本的な概念を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思事象から離散的な変化を見つけ, 変化の規則性を数学的に捉え, 数列の考えを問題解決に活用している。</p> <p>主数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	単元ごとに前述の主な学習活動(1～4)を行う。
2 ～ 3 学 期	第2章 統計的な推測	<p>知標本調査や確率分布の基本的な概念や仮説検定の方法を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思確率分布や標本調査の特徴を考察することができる。標本調査を設計し, 母集団の特徴や傾向を推測することができる。</p> <p>主数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 Bβ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 Bβ	2年	1	新編数学 B (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学Ⅱ+B+C(数研出版)

科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身につけている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

数学 Bβ 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 ～ 2 学 期	第1章 数列	<p>知数列や漸化式, 数学的帰納法の基本的な概念を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思事象から離散的な変化を見つけ, 変化の規則性を数学的に捉え, 数列の考えを問題解決に活用している。</p> <p>主数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	単元ごとに前述の主な学習活動(1～4)を行う。
2 ～ 3 学 期	第2章 統計的な推測	<p>知標本調査や確率分布の基本的な概念や仮説検定の方法を理解しているとともに, 数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思確率分布や標本調査の特徴を考察することができ, 標本調査を設計し, 母集団の特徴や傾向を推測することができる。</p> <p>主数学のよさを認識し, 数学を活用し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 C α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 C α	2年	1	新編数学 C (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学 II+B+C(数研出版)

科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身につけている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

数学 C α 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期			
2 学 期	第1章 平面のベクトル	<p>知平面のベクトルの意味やベクトルの内積などの基本的な概念を理解しているとともに、数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思平面のベクトルやその内積の基本的な性質を用いて、平面図形の性質を見だし、多面的に考察することができる。</p> <p>主数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
3 学 期	第2章 空間のベクトル	<p>知空間のベクトルの意味やベクトルの内積などの基本的な概念を理解しているとともに、数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思空間のベクトルやその内積の基本的な性質を用いて、空間図形の性質を見だし、多面的に考察することができる。</p> <p>主数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 C β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 C β	2年	1	新編数学 C (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学 II+B+C(数研出版)

科目の目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

数学 Cβ 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期			
2 学 期	第1章 平面のベクトル	<p>知平面のベクトルの意味やベクトルの内積などの基本的な概念を理解しているとともに、数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思平面のベクトルやその内積の基本的な性質を用いて、平面図形の性質を見だし、多面的に考察することができる。</p> <p>主数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
3 学 期	第2章 空間のベクトル	<p>知空間のベクトルの意味やベクトルの内積などの基本的な概念を理解しているとともに、数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。</p> <p>思空間のベクトルやその内積の基本的な性質を用いて、空間図形の性質を見だし、多面的に考察することができる。</p> <p>主数学のよさを認識し、数学を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。</p>	全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 物理β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
物理β	2年	3	総合物理 (啓林館)	セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 岡山県 物理実験書(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物理的な事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近なエネルギーなど)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	思考・判断・表現 物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問	・観察実験レポート ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み

物理β 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	(1)さまざまな運動 ア 平面内の運動と剛体のつり合い イ 運動量 ウ 円運動と単振動	<p>知様々な運動について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。</p> <p>思様々な運動について、物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p>	单元ごとに前述の主な学習活動(1~5)を行う。 実験1 剛体の重心 実験2 運動量の保存 実験3 等速円運動と向心力
2 学 期	エ 万有引力 オ 気体分子の運動 カ 様々な運動に関する探究活動	<p>主様々な運動の理解を目標に物理学に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	
3 学 期	(2)波 ア 波の伝わり方 イ 音 ウ 光 エ 波に関する探究活動	<p>知波について、基本的な概念や原理・法則を理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。</p> <p>思波について、基本的な概念や原理・法則を理解し、観察、実験などを通して探究し、表現している。</p> <p>主波についての理解を目標に物理学に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験7 波の干渉 実験8 光の性質 実験10 光の干渉 全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 化学基礎α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
化学基礎 (化学基礎α)	2年	2	化学基礎 (数研出版)	Let's Try Note Vol.1, 2, 3(東京書籍) 化学実験と考察(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	<p>物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら, 物質とその変化について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。</p>		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では, 思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験型の授業では, 課題意識を強く持ち, グループ内で協力して, 観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ, 科学を身近に感じ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。 【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など, 授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

化学基礎α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1	(1) 化学と人間生活 (ア) 化学と物質 ㉞ 化学の特徴 ㉟ 物質の分離・精製 ㊱ 単体と化合物 ㊲ 熱運動と物質の三態	<p>知化学と人間生活について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>思身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。</p> <p>主化学と物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験6 アルカリ金属の性質
2	(2) 物質の構成 (ア) 物質の構成粒子 ㉞ 原子の構造 ㉟ 電子配置と周期表 (イ) 物質と化学結合 ㉞ イオンとイオン結合 ㉟ 分子と共有結合 ㊱ 金属と金属結合	<p>知物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解している。また、物質と化学結合についての観察、実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>思物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>主物質の構成に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験7 気体 1mol の占める体積 実験8 化学反応の量的関係
3	(3) 物質の変化とその利用 (ア) 物質と化学反応式 ㉞ 物質質量 ㉟ 化学反応式 (イ) 化学反応 ㉞ 酸・塩基と中和 ㉟ 酸化と還元 (ウ) 化学が拓く世界 ㉞ 化学が拓く世界	<p>知物質質量と化学反応式、化学反応、化学が拓ひらく世界について、物質質量、化学反応式、酸・塩基と中和、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>思物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>主物質の変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験11 酸の濃度測定 実験13 酸化還元滴定
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 化学基礎β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
化学基礎 (化学基礎β)	2年	2	化学基礎 (数研出版)	セミナー 化学基礎+化学(第一学習社) 化学実験と考察(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験型の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。 【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

化学基礎β 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
I	(1) 化学と人間生活 (ア) 化学と物質 ㉞ 化学の特徴 ㉟ 物質の分離・精製 ㊱ 単体と化合物 ㊲ 熱運動と物質の三態	<p>知化学と人間生活について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>思身近な物質や元素について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。</p> <p>主化学と物質に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験6 アルカリ金属の性質
	(2) 物質の構成 (ア) 物質の構成粒子 ㉞ 原子の構造 ㉟ 電子配置と周期表 (イ) 物質と化学結合 ㉞ イオンとイオン結合 ㉟ 分子と共有結合 ㊱ 金属と金属結合	<p>知物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解している。また、物質と化学結合についての観察、実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>思物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>主物質の構成に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験7 気体 1mol の占める体積 実験8 化学反応の量的関係
	(3) 物質の変化とその利用 (ア) 物質と化学反応式 ㉞ 物質量 ㉟ 化学反応式 (イ) 化学反応 ㉞ 酸・塩基と中和 ㉟ 酸化と還元 (ウ) 化学が拓く世界 ㉞ 化学が拓く世界	<p>知物質量と化学反応式、化学反応、化学が拓ひらく世界について、物質量、化学反応式、酸・塩基と中和、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>思物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>主物質の変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験11 酸の濃度測定 実験13 酸化還元滴定
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 化学β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
化学 (化学β)	2年	3	化学 (数研出版)	セミナー 化学基礎+化学(第一学習社) 化学実験と考察(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	<p>化学的な事物・現象に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度を養う。</p>		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 対話型の授業では, 思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験型の授業では, 課題意識を強く持ち, グループ内で協力して, 観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。 【読解力】【進取の精神】</p> <p>5 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ, 科学を身近に感じ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。 【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	化学的な事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など, 授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

化学β 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
2	(1) 物質の状態と平衡 (ア) 物質の状態とその変化 ㉞ 状態変化 ㉟ 気体の性質 ㊱ 固体の構造 (イ) 溶液と平衡 ㉞ 溶解平衡 ㉟ 溶液とその性質	知 物質の状態とその変化, 溶液と平衡について, 状態変化, 気体の性質, 固体の構造, 溶解平衡および溶液とその性質を理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付けている。 思 物質の状態と平衡について, 観察, 実験などを通して探究し, 物質の状態とその変化, 溶液と平衡における規則性や関係性を見いだして表現している。 主 化学的な事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験3 分子量の測定 実験4 凝固点降下 実験5 コロイド
3	(2) 物質の変化と平衡 (ア) 化学反応とエネルギー ㉞ 化学反応と熱・光 ㉟ 電池 ㊱ 電気分解 (イ) 化学反応と化学平衡 ㉞ 反応速度 ㉟ 化学平衡とその移動 ㊱ 電離平衡	知 化学反応とエネルギー, 化学反応と化学平衡について, 化学反応と熱・光, 電池, 電気分解, 反応速度, 化学平衡とその移動, 電離平衡のことを理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付けている。 思 物質の変化と平衡について, 観察, 実験などを通して探究し, 化学反応とエネルギー, 化学反応と化学平衡における規則性や関係性を見いだして表現している。 主 化学的な事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~5)を行う。 実験6 反応熱 実験7 電池 実験8 電気分解 実験9 電気分解の量的関係 実験10 反応の速さ 実験11 化学平衡 実験12 弱酸の電離度
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 生物β

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
生物β	2年	3	改訂 高等学校 生物 (第一学習社)	生物エブリノート(実教出版) ニューアチーブ生物(東京書籍) リードLightノート生物基礎(数研出版) ニューステージ新生物図表(浜島書店) 岡山県 生物の実習(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組みましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・授業ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・課題考査

生物β 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	(1) ヒトの体の調節 ア. 免疫 (2) 生物の多様性と生態系 ア. 植生と遷移 イ. 生態系とその保全	知 ヒトの体の調節や生物の多様性と生態系について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。 思 免疫や植生とその遷移について、観察、実験などを通して探究し、特徴を見いだして表現している。 主 ヒトの体の調節や生物の多様性と環境について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。 実習 運動による心拍数の変化 実習 14 陽葉と陰葉の比較 実習 20 岡山県の植生分布と環境
2 学 期	(3) 生物と進化 ア. 生命の起源と細胞の進化 イ. 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 ウ. 進化のしくみ (4) 生物の系統と進化 ア. 生物の系統 イ. 人類の系統と進化	知 生物の進化の過程や系統について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。 思 生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、観察、実験などを通して探究し、特徴を見いだして表現している。 主 生物の進化と系統に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高める。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 実習 分子系統樹の作成
3 学 期	(5) 細胞と分子 ア. 生体物質と細胞 イ. タンパク質の構造と性質 ウ. 生命現象とタンパク質 (6) 代謝 ア. 代謝とエネルギー イ. 炭酸同化 ウ. 異化	知 細胞の内部構造や代謝を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。 思 細胞の構造や生体内で起こる現象について、観察、実験などを通して探究し、特徴を見いだして表現している。 主 生命現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 実習 24 脱水素酵素の働き 実習 25 アルコール発酵 全体を通して、それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 生物研究α

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
生物研究 α	2年	1	高等学校 生物基礎 (第一学習社)	学校自作授業ノート リードLight ノート生物基礎(数研出版) ニューステージ新生物図表(浜島書店) 岡山県 生物の実習(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】</p> <p>2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組ましましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業中の発問 ・実習書 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テストと課題考査

生物研究α 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	(1) ヒトの体の調節 (ア) 免疫	<p>知 ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。</p> <p>思 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現している。</p> <p>主 ヒトの体の調節に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。</p>
2 学 期	(2) 生物の多様性と生態系 (ア) 植生と遷移	<p>知 生物の多様性と生態系について、植生と遷移を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。</p> <p>思 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。</p> <p>主 生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>実習 14 陽葉と陰葉の比較 実習 20 岡山県の植生分布と環境</p>
3 学 期	(2) 生物の多様性と生態系 (イ) 生態系とその保全	<p>知 生物の多様性と生態系について、生態系とその保全を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。また、生態系の保全の重要性について認識している。</p> <p>思 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。</p> <p>主 生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。</p>
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 体育

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
体育	2年	2	現代高等保健体育 (大修館書店)	ステップアップ高校スポーツ2023 (大修館書店)

科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
見方・考え方	スポーツをその価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉える。また、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けて考える。		
主な学習活動	1 運動の合理的、計画的な実践や体育理論の学習を通して、知識や技能を高め、課題の解決に向けて取り組むことにより、運動のもつ特性や魅力に触れ、運動のもつ楽しさや喜びを深く味わいます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【創造力】 2 各種の運動を合理的に行なうことにより、体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力、生活に応じた運動の計画を立て、主体的に取り組むことができる能力を養います。【批判的・論理的思考力】【進取の精神】 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正な態度や進んで規則を守りお互いに協力して責任を果たし、チームやグループの意志決定に参画するなどの態度を身につけます。また、健康安全を確保して運動することができる能力や態度を身につけます。【社会で生きる知識・技能】【友愛の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	学びに向かう力・人間性 ・運動の楽しさや喜びを深く味わい、主体的に取り組む態度 ・運動の合理的、計画的な実践を通じて、多様性を尊重し、公正に取り組む、仲間と関わり協力する。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にする。	思考力・判断力・表現力 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる思考力・判断力・表現力 ・思考・判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりして、相手に伝えたり表現したりする力	知識・技能 ・運動の特性に応じた行い方や運動の一般原則などの知識 ・競技会、発表会の仕方や審判の方法などの知識
主な評価方法	・授業状況の観察 ・レポート ・課題への取り組み	・授業状況の観察 ・レポート	・知識理解度テスト ・授業状況の観察

体育 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	オリエンテーション 体ほぐし運動 体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 選択制授業 バドミントン テニス ソフトボール Tボール	思 活動目標・規律などについて理解することができる。 主 整列・挨拶ができる。 主 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 知 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。 思 それぞれの種目の特性を理解し、自己の関心・意欲・能力・適性等に応じて種目を選択し自己に適した目標や課題を持ち、お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 主 健康面や安全面に配慮して、取り組むことができる。	『学習活動』1、2、3を行い 3つの観点について評価を行う。
2	体づくり運動 体育理論 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 選択制授業 バドミントン テニス ソフトボール Tボール サッカー	主 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 知 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。 思 それぞれの種目の特性を理解し、自己に適した目標や課題を持ち、お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 知 各種目の特性に応じて安定したボール・用具操作によって攻防することができる。 主 健康面や安全面に配慮して、取り組むことができる。	『学習活動』1、2、3を行い 3つの観点について評価を行う。
3	体づくり運動 選択制授業 バレーボール ハンドボール 卓球	主 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができる。 知 各種目の特性に応じて安定したボール・用具操作によって攻防することができる。 思 それぞれの種目の特性を理解し、自己に適した目標や課題を持ち、お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 主 健康面や安全面に配慮して、取り組むことができる。	『学習活動』1、2、3を行い 3つの観点について評価を行う。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 保健

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
保健	2年	1	現代高等保健体育 (大修館書店)	図説 現代高等保健 (大修館書店)

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。		
見方・考え方	疾病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付ける。		
主な学習活動	<p>1 年齢とともに変化する心と体について理解し、健康の保持増進のために個人や社会がすべきことについて課題見つけ、そのために必要な知識と技能を身につけます。【社会で生きる知識・技能】【進取の精神】【創造力】</p> <p>2 ライフステージに応じた健康課題について学び必要な知識を養います。【社会で生きる知識・技能】</p> <p>3 課題学習では、環境問題など日本や世界が抱える問題について自ら課題を見つけ出し、主体的に考え試行錯誤しながら課題に取り組むことができる能力を養います。【批判的・論理的思考力】</p> <p>4 仲間と意見を交換し、協力しながら自分と他者の健康について考え、生涯にわたり、健康で安全な生活がおくれるよう必要な知識と技能を身につけます。【社会で生きる知識・技能】【友愛の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 健康・安全の意義を理解するとともに、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	思考・判断・表現 自他の心身の安全や健康に関する課題の解決を目指し、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	主体的に学習に取り組む態度 日常生活や社会との関連を図りながら、自他の心身の安全や健康に関心を持ち、自らの健康で安全な生活を実践するために、進んで学習に取り組もうとする。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・レポート ・定期考査	・発表 ・レポート ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題への取り組み

保健 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	<p>3生涯を通じる健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 	<p>知思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したと言ったり書いたりしている。</p> <p>思結婚生活と健康について習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。</p> <p>主課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>講義型授業や課題型学習(個人・グループで協働し準備・レポート作成・発表を行う)を行い、3つの観点から評価を行う。</p> <p>ICTを活用する。 (クロムブック・ビデオ)</p>
2 ・ 3	<p>4健康を支える環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 	<p>知健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>思環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>主課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>講義型授業や課題型学習(個人・グループで協働し準備・レポート作成・発表を行う)を行い、3つの観点から評価を行う。</p> <p>ICTを活用する。 (クロムブック・ビデオ)</p> <p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>講義型授業や課題型学習 ICTを活用する。</p>
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 美術Ⅱ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
美術Ⅱα	2年	2	美術2 (光村)	

科目の目標	美術の創造的な活動を通して、造形的なものの見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。		
主な学習活動	<p>1 表現の活動では、造形的なよさ、表現の意図と工夫、美術の働きについて考え、主題をついたり、個性豊かに構想を練ったりしながら、表現を工夫します。【創造力】【探求する力】</p> <p>2 表現の活動では、造形的な視点について理解を深めながら、意図に応じて表現方法を工夫します。【創造力】【探求する力】</p> <p>3 鑑賞の活動では、造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、自分の言葉で発表したり、友人の発表を聞いたりする中で見方や感じ方を深めます。【読解力】【友愛の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容を日常の生活と関連づけて、美術文化に親しみ、探究しながらさらに感性を高めていきましょう。【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、 創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、 進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
主な評価方法	・作品 ・感想のワークシート ・発表の内容	・スケッチやメモ ・発表や話し合いの経過 ・発想や構想のワークシート	・ワークシートへの記入の状況 ・振り返りシートの内容 ・課題への取り組みや授業中の質問

美術Ⅱ 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	(1) 絵画の役割と写真 発明 〈鑑賞〉	<p>思 絵画の役割の変化と、表現としての意義を写真の発明や時代との関連から考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>主 それぞれの特徴とともに、時代との関連の中で共通点や変化の要素を探したり、総合的に捉えたりしている。</p>	<p>【鑑賞】18世紀までの絵画の役割を、それ以降の絵画と比較することを通して考える。</p> <p>写真の発明以降、主体性を重視した表現という視点で絵画表現の歩みを考察する。</p>
	(2) 構想を練って描く 油彩表現 〈鑑賞〉 〈絵画・彫刻〉	<p>知 描きながら構想をさらに深め、画材の特性の生かし方や表現方法を模索して表している。</p> <p>思 主題をもとに、構図や配色、使用する技法を、スケッチや習作、作品の中で重ねながら工夫し構想を練っている。</p> <p>主 造形的な美しさを感じ取り、主題生成や構想、表現を模索している。</p>	<p>【鑑賞】教科書の作品について鑑賞し、作品とスケッチや習作から作品に至る変化の様子を構図、表現方法の視点から探る。</p> <p>【表現】スケッチや習作を重ね、試行錯誤して構図を組み立て、油彩で表現する。</p>
2	(3) デザインがもたらす統一感 〈鑑賞〉 〈デザイン〉	<p>知 学校行事の装飾を、コンセプトに沿った統一感のあるデザインで、総合的に表すことができている。</p> <p>思 条件や効果を考えながら、統一感のある美しいデザインとして展開するための造形を模索している。</p> <p>主 鑑賞で学習した、組織やイベントでは、建築、内装、グッズなどを共通の配色や図柄を用いて、統一感のある美しいデザインされていることを生かして、制作に応用、発展させようとしている。</p>	<p>【鑑賞】組織やイベントの建築、内装、グッズを分析し、効果的に伝えるための工夫を読み解く。</p> <p>【表現】学校行事の装飾とグッズをデザインする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図柄と配色デザインについて主題を決め、構想を練る。 ・空間の装飾とグッズへ展開する計画を立てる。 ・基本デザインと展開についてレンドリングする。
	(4) 造形的な特徴を基に、作風を探る。 〈鑑賞〉	<p>主 造形的な特徴から全体のイメージや作風を捉え、今まで気づかなかった作品のよさや美しさに気づいている。</p> <p>思 作品に共通する造形的要素を探し、効果を感じ取りながら、統合させ、作風として捉えている。</p>	<p>【鑑賞】作品に意図的に用いている造形要素を探り、それらが感情にもたらす効果を話し合いながら考える。</p>
	(5) 考えたことを基にした表現 〈デザイン/絵画彫刻 いずれか選択〉	<p>思 自己や社会について深く見詰め、考えたことから主題をつくる。</p> <p>思 考表現形式について考え、個性豊かな表現の構想を練る。</p> <p>知 主題にあった表現を創意工夫して表す。</p>	<p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモやスケッチを重ねながら造形的視点で考え、主題を決める。 ・客観的な視点に立って、既存の価値にとれ割れることなく構想する。 ・自己の見方や感じ方を生かし、表現方法を創意工夫する。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 英語コミュニケーションⅡ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
英語コミュニケーションⅡ	2年	4	CROWN English CommunicationⅡ (三省堂)	CROWN English CommunicationⅡワークブック(三省堂)

科目の目標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指す。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	<p>外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。</p>

<p>主な学習活動</p>	<p>1 授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】</p> <p>2 授業ではペアワーク・グループワークなどに積極的に取り組むとともに、スピーチやディベートなどでは他の意見を受容し、自らも論理的に思考し、積極的に考えを表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】</p> <p>3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、読解問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活（身近な社会問題など）を関連づけ、解決の糸口を考察するなど、主体的に学ぶ意欲を高めましょう。【創造力】【進取の精神】</p>		
<p>未来創造力</p>	<p>知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力</p>	<p>探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力</p>	<p>未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神</p>
<p>評価の観点及び評価規準</p>	<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に取り組む態度</p>
	<p>聞くこと</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聴いて、その内容をとらえる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。</p>
	<p>読むこと</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p>
	<p>話すこと やり取り</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して伝えあったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>
	<p>話すこと 発表</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。</p>
<p>書くこと</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを書こうとしている。</p>	
<p>主な評価方法</p>	<p>・定期考査 ・授業中の発問に対する応答 ・予習への取組</p>	<p>・ペアワークでの表現活動 ・定期考査 ・復習への取組</p>	<p>・発表・授業状況の観察 ・課題、小テストへの取組 ・課題考査</p>

英語コミュニケーションⅡ 年間指導計画

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1	<p>1課 言語・異文化 翻訳できないことばについて</p> <p>2課 教育・国際貢献 アジアの国々の子どもたちへ絵本を届ける活動について</p> <p>3課 多様性・観光 障がい者のために活動する人について</p> <p>4課 国際協力・平和 「国境なき医師団」での体験について</p>	<p>知日英の動物のことわざ、ボランティア活動、車椅子を使う人、医師の体験についての英文を読み、その内容を理解するとともに、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。</p> <p>思日英のことわざ、ボランティア、車椅子を使う人のための旅行、国際的に活躍する医師の体験について概要や要点の理解を深め、自分の意見を話したり書いたりしている。</p> <p>主本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとするとともに、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>1課 レクチャーの構成 不定詞・動名詞の受け身</p> <p>2課 雑誌記事 不定詞の完了形</p> <p>3課 エッセイの構成 分詞構文、強調構文</p> <p>4課 講演 関係副詞、不定詞+前置詞</p>
2	<p>5課 スポーツ・心理 スポーツでのメンタル・タフネスについて</p> <p>6課 芸能・異文化 サグラダ・ファミリアの彫刻家について</p> <p>7課 科学技術・環境 バイオミクリーについて</p> <p>8課 人権・共生 カカオ農園の女性たちの活動について</p>	<p>知心理、異文化、人権についての英文を読み、その内容を理解するとともに、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。</p> <p>思心理、異文化、人権について概要や要点の理解を深め、自分の意見を話したり書いたりしている。</p> <p>主本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとするとともに、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>5課 雑誌記事 前置詞+関係代名詞 無生物主語</p> <p>6課 インタビュー 助動詞+have+p.p.</p> <p>7課 論説文 仮定法</p> <p>8課 レクチャー be to 不定詞</p>
3	<p>9課 生活・経済 人々の選択を手助けするナッジの仕組みについて</p> <p>10課 宇宙・科学 地球外生命体の探索について</p>	<p>知ナッジの仕組みや、地球外生命体についての英文を読み、その内容を理解するとともに、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。</p> <p>思ナッジや宇宙について概要や要点の理解を深め、自分の意見を話したり書いたりしている。</p> <p>主本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとするとともに、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。</p>	<p>单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>9課 未来進行形、受け身</p> <p>10課 倒置。独立分詞構文</p> <p>全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。</p>
<p>状況によって計画を変更する場合があります。</p>			

指導と評価の年間指導計画 論理・表現Ⅱ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
論理・表現Ⅱ	2年	2	FACTBOOK Logic and Expression Ⅱ (桐原書店)	FACTBOOK Logic and Expression Ⅱ ワークブック(桐原書店) 総合英語 FACTBOOK これからの英文法 NEW EDITION(桐原書店)

科目の目 標	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指す。</p> <p>(1)話すこと[やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたこと活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	<p>外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。</p>
主な学習活動	<p>1 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」活動の基礎となる文法事項や語彙、表現を学習するとともに、それらを目的や場面、状況に応じて活用できるようにしよう。【社会で生きる知識・技能】【表現力】【自律の精神】</p> <p>2 設定されたテーマ・課題に対して、ペアワーク・グループワークを通して、互いに質問や意見交換を</p>

	<p>行うことで内容の理解を深化させるとともに、聞き手や目的を意識して簡潔に話したり、書いたりする活動に積極的に取り組もう。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えを時系列や重要度の高い順に整理したり、比較を用いたり、具体例や統計資料を用いたりして発表しよう。【読解力】【批判的・論理的思考力】</p> <p>4 授業で学習した内容と日常生活・社会問題などを関連づけ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。学習したことを振り返り、ワークブック・参考書などの演習問題にも自主的に取り組もう。【創造力】【進取の精神】</p>		
未来創造力	<p>知の基盤となる力</p> <p>社会で生きる知識・技能, 読解力</p>	<p>探究する力</p> <p>批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力</p>	<p>未来へ向かう力</p> <p>自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神</p>
評価の観点及び評価規準	<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に取り組む態度</p>
	<p>話すこと やり取り</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して伝えあっている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>
	<p>話すこと 発表</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。</p>
<p>書くこと</p> <p>・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを書くようとしている。</p>	
主な評価方法	<p>・小テスト ・定期考査</p>	<p>・授業状況の観察 ・定期考査</p>	<p>・授業状況の観察 ・ノート・課題等への取り組み ・課題考査</p>

論理・表現Ⅱ 年間指導計画

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1	L.1 文型（主語） L.2 文型（目的語・補語） L.3 名詞の修飾 L.4 動詞句・文の修飾	<p>知日常生活の身近な話題など、比較的平易な内容の Listening や Reading を通じてターゲットとなる表現を把握するとともに、辞書や説明があれば、概要を把握できる。</p> <p>思話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、意見交換やペア・グループワークなどを通じて、自らの考えを表現することができる。</p> <p>主各レッスンの内容について主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。</p>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>○基本表現を理解する。</p> <p>○参考書を活用して文法及び表現への理解を深める。</p>
2	L.5 時制 L.6 受動態 L.7 助動詞・仮定法 L.8 比較	<p>知社会性のある話題についての Listening や Reading を通じてターゲットとなる文法事項を把握するとともに、辞書や説明があれば、概要を把握できる。</p> <p>思話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、意見交換やペア・グループワークなどを通じて、自らの考えを表現することができる。</p> <p>主各レッスンの内容について主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。</p>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>○同上</p>
3	L.9 強調・倒置など L.10 否定 speech presentation discussion debate Writing	<p>知環境問題・教育の話題についての Listening や Reading を通じてターゲットとなる文法事項を把握するとともに、辞書や説明があれば、概要を把握できる。</p> <p>思話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、上記の活動に加えてスピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど多様な活動を通じて、自らの考えを表現し、他の考えを受容することができる。</p> <p>主各レッスンの内容や提示されたテーマについて主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連や今後の行動について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。</p>	<p>単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。</p> <p>○同上</p>
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 家庭基礎

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
家庭基礎	2年	2	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	家庭基礎 自立・共生・創造 完全準拠学習ノート (東京書籍) 2024 生活 Navi 資料+成分表(実教出版)

科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。			
生活の営みに係る見方・考え方	家庭科は、人の誕生から、乳幼児期、青年期、壮年期、高齢期までの生活の営みを見通し、生涯にわたって、生活の主体として自立し、かつ人と協働して共に生きる力を身につけることを目指している。			
主な学習活動	<p>1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようプリントに自分の考えをまとめます。単元の復習として、学習ノートを活用して学習を深めます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】</p> <p>2 対話型の授業では、調べ学習のまとめ・発表を通して収集した情報を客観的に判断し、自らの考えを論理的に表現します。【批判的・論理的思考力】【表現力】</p> <p>3 実験・実習型の授業では、科学的根拠を元に身の回りの生活に必要な知識と技能を知識とつなげて生活の中で活用する力を育てます。【社会で生きる知識・技能】【創造力】</p>			
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<p>家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる生活事象について、基礎的な概念や社会状況を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる生活事象について、基礎的な技術を科学的に理解し日常生活に応用する技術を身に付けている。</p>	<p>家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる事象について、持続可能な社会の実現を意識しながら課題を見だし、その解決に向けて思考を深めることができる。</p>	<p>家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる生活事象について関心を持ち、実践的・体験的な学習活動等を通して、他者と協力しながら積極的に学習に取り組むことができる。</p>	
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノート ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・各分野の製作物 ・実習作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ホームプロジェクト ・各分野の製作物 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業状況の観察 ・学習ノート ・課題への取り組み

家庭基礎 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家 庭クラブ活動 A 人の一生と家族・家庭お よび福祉 (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・ 家庭 (3) 子供の生活と保育 (4) 高齢期の生活と福祉 (5) 共生社会と福祉	知 生涯発達の視点で人の一生について理 解すると共に、青年期、乳幼児期、高齢期 の課題がわかり、家族・家庭を支える福祉 や社会的支援について理解している。 思 生涯を見通した自己の生活について主 体的に考えると共にそれぞれのライフステ ージごとの課題を解決する力を身につけ ている。 主 様々な人々と協働し、よりよい社会の構 築にむけて、課題解決に主体的に取り組 むようとしている。	单元ごとに前述の多様な学 習活動を行う。 実習1ライフプランの設計 実習2民法について考える 実習3子供に関する新聞作り 実習4高齢者介護について ロールプレイング 実習5共生社会について考 える
2 学 期	B 衣食住の生活の自立と設 計 (1) 衣生活と健康 (2) 食生活と健康 (3) 住生活と住環境	知 ライフステージに応じた被服の機能、食 生活、住生活の特徴について理解してい る。 思 食生活、衣生活、住生活について課題を 見つけ、その解決策を構想し、実践を評 価・改善し、考察したことを根拠に基づい て論理的に表現することができる。 主 様々な人々と協働し、よりよい衣生活・食 生活・住生活について、課題の解決に主 体的に取り組み、生活の質の向上に向け て学んだことを実践しようとしている。	单元ごとに前述の多様な学 習活動を行う。 実習6基礎縫いとその応用 実習7栄養バランスを考えた 献立作り 実習8 調理実習 実習9快適な住環境につい て最新の情報を収集 しまとめてプレゼンテ ーションをする
3 学 期	C 持続可能な消費生活・環 境 (1) 生活における経済の計 画 (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタ イルと環境	知 消費者の権利と責任を自覚して行動で きるよう消費生活の現状と課題、消費行動 における意志決定や契約の重要性、消費者 保護の仕組みについて理解する。 思 経済の管理や計画の重要性について、 自分のライフステージや社会保障制度など に関連づけて理解し、まとめることができる。 主 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築 に向けて、生涯の生活設計について課題を 解決するとともに自分や家族、地域の生活 の充実向上を図ろうとしている。	单元ごとに前述の多様な学 習活動を行う。 実習10生涯を見通したマネ ーゲーム

状況によって計画を変更する場合があります。

総合的な探究の時間 (Minamix) 2 年次 指導と評価の年間指導計画

目標	<p>自ら設定した課題を、仲間と協働しながら探究し、課題発見・解決へのアプローチ方法を身につける学び、社会と自らの生き方を関連づけて考え、自立的に自身の進路を拓く学びを進め、探究で繋がる学びで、知り、深く考え、未来を創るために行動する志と力「未来創造力」を育む。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を身につける</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新しい価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。</p>		
探究の見方・考え方	<p>各教科・科目等における見方・考え方を総合的・統一的に活用して、後半で複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の在り方生き方を問い続けるという総合的な探究の時間の特質に応じた見方・考え方。</p>		
主な学習活動	<p>・「Minamix ゼミ」身近な課題を SDGs 課題と関連づけ、グローバルな視点から調査・研究を進めます。グループ内で協力して考察を行い、ポスターを完成するために主体的に取り組ましましょう。また、ポスターセッションの形で発表し、プレゼンテーション能力を伸ばしていきます。【読解力】【批判的・論理的思考力】【創造力】【表現力】【自律の精神】【友愛の精神】</p> <p>・「事業所訪問」実際の職場を見学することで、よりよい社会をつくるために何が求められているのかを知り、自分の学びたい学問と結びつけて考えましょう。【創造力】【進取の精神】</p> <p>・「進路探究」大学・学部研究を進め、自分が学びたい学問について理解を深めます。【社会で生きる知識・技能】【創造力】【進取の精神】</p>		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 ・課題を発見し解決するために必要な知識・技能 ・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	思考・判断・表現 ・探究を深めるための思考・判断・表現 ・実社会や実生活と自己との関わり方から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	主体的に学習に取り組む態度 ・自らの学習を調整しながら主体的・協働的に取り組もうとする態度 ・探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。
主な評価方法	・ワークシート・レポート等の成果物 ・自己評価・相互評価	・ワークシート・レポート・ポスター等の成果物 ・発表や話し合い等の活動の観察 ・自己評価・相互評価	・発表や話し合い等の活動の観察 ・振り返りワークシート ・課題の内容、提出状況 ・自己評価・相互評価

総合的な探究の時間 (Minamix) 2年次 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 ・ 2 学 期	自己実現に向けた進路探究	<p>知 自らの進路・生き方に関わる様々な情報・知識を身につけ、自らの進路や生き方を関連づけて理解すると共に、自己の進路実現に必要な技能を身につけている。</p> <p>思 現代社会や地域の諸課題と関連づけて、自らの進路・生き方について課題を設定して多面的・多角的に考察し、的確に表現することができている。</p> <p>主 自己のあり方や将来の進路・生き方に関して積極的に考えると共に、学習に対する意欲を高め、創造的・実践的な態度を身につけようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学研究 ・学部学科研究 ・事業所訪問
1 ・ 2 ・ 3 学 期	課題解決探究活動 成果のまとめ	<p>知 持続可能な社会の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解するとともに、調査活動を、目的や対象に応じて適切に実施している。</p> <p>思 探究の過程において、設定した課題の解決に向けて仮説を立て、必要な情報の収集し、事実や関係を整理して比較、分析するとともに、目的や意図に応じて論理的に表現している。</p> <p>主 探究を通して、多様な意見を尊重し、協働的に課題を解決しようとしている。自己の在り方生き方を考え、持続可能な社会の形成者として貢献しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Minamix ゼミ」 情報収集 調査・研究 考察・まとめ 論文作成 ・ポスターセッション ・探究のまとめ ・活動報告書 ・ルーブリック評価 ・キャリアパスポート
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		